

# 高齢者住宅 手探りの感染予防

新型コロナウイルスから命を守る最前線は、医療現場ばかりではない。特に重症化しやすい高齢者向けの住宅も感染を防ぐ取り組みを急ぐ。政府の支援が十分に行き届かず、資材やノウハウも不足するなか、手探りの作業になっている。

## 支援も資材もなく 緊張の日々

### 新型 コロナ

千葉県を中心に10カ所あるサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)「銀木屋」を運営する下河原忠さん(48)は、目を保護するフェイスシールドを取りつけたマスクを手作りしている。透明のフィルムを加工し、ホチキスで使い捨てマスクに定める。1時間できるのはせいぜい50枚だ。

銀木屋は、訪問介護事業所を併設した住宅を展開する。平均年齢85歳の入居者は個室(18年度時点)にのぼる。ひとたび集団感染が起きれば、多数の高齢者が命の危険にさらされかねない。実際、北海道千歳市のサ高住で集団感染が発生し、4月末までに入居者ら計19人の感染が判明した。下河原さんは「高齢者住宅で重症者を多く出すと、医療現場に負担をかける。最大限のことをして、みんなの命を守りたい」と話す。



防護服の代わりとしてレインコートの前を逆に着るスタッフ



手作りのフェイスシールド付きマスクをつくる下河原忠さん(千葉県浦安市)

- 「発信する会」がまとめた高齢者ケアのためのアクションリスト(抜粋)
- 【職員の健康管理・感染予防】無症状の職員が入居者に感染させるリスクを減らすため、予防策としてマスクと手袋の使用
- 【飛沫感染予防のポイント】口腔ケアは必ずマスク、手袋(必要時はゴーグル)を装着して実施
- 【陽性者の医療機関への搬送】入居者はマスク、付き添う職員は手袋、ガウン、ゴーグル付きフェイスシールドなどを着用
- 【陽性者をケアする場合の標準装備】ガウンと手袋、マスクとゴーグルまたはフェイスシールド
- 【家族の施設訪問】訪問者は一度に1人に制限

で暮らし、必要な介護サービスをスタッフが提供している。入居者の発熱は珍しくない。今の状況では感染の可能性を否定できないことから、スタッフは急ごしらえのフェイスシールド付きマスクと、防護服の代わりにレインコートの前を逆に着て対応している。サ高住は2001年にバリアフリーの賃貸住宅として制約度化されてから増え、全国に約25万5千戸ある。国土交通省によると、サ高住と有料老人ホームなどを合わせた高齢者住宅の定員は84万5千分(18年度時点)にのぼる。ひとたび集団感染が起きれば、多数の高齢者が命の危険にさらされかねない。実際、北海道千歳市のサ高住で集団感染が発生し、4月末までに入居者ら計19人の感染が判明した。下河原さんは「高齢者住宅で重症者を多く出すと、医療現場に負担をかける。最大限のことをして、みんなの命を守りたい」と話す。

## 海外の対策 翻訳して共有

高齢者向けの住宅や施設を支援するため、海外の公的機関の対策を翻訳してネットで共有する動きも出てきた。高齢者施設でのケアを研究する東京大学の山本則子教授らは4月中旬、「高齢者ケアのために新型コロナウイルス対応情報を発信する会」を立ち上げた。メンバーは研究者や大学院生、看護師、イラストレーター。高齢者住宅で感染が拡大すれば介護崩壊につながる、離れて暮らす入居者の家族への負担に跳ね返る。政府は入院治療を行う医療機関への報酬を3倍にする一方、高齢者住宅も含む介護現場は、対策を徹底して感染者ゼロを達成しても特別の介護報酬を支払うなどの対応は取っていない。大阪市内の有料老人ホームの施設長44人は「ウイルスと闘う医療職がフォワードなら、高齢者の暮らしを守る私たちにはティンフェンダーのような存在。でもスポットライトは当たらず、スタッフは疲弊し始めた」とこぼす。

3686

女王が暮らすパッキンガム宮殿の近衛兵は高さ約46センチの帽子を年中かぶるよ。カナダの熊の毛皮でできているから、夏場には暑くて大変らしいよ。

暖かい目立つ夫が草花を育てていました。このおもしろい孫のおもちゃかなと思いついて、我々の名前と日付が刻印されていました。結婚指輪でした。長い間はあつたが、粉失していることさえ忘れていました。ついでと、太くなった私の指、第1関節でストップした。2人で笑ってしまいました。何年、土の中で眠っていたのか、土の中から出てきました。

無断転載禁止